



東京湾再生官民連携フォーラム 平成 27 年度 第 2 回企画運営委員会

1. 開催日時 平成 27 年 7 月 31 日 (金) 10 : 00 ~ 11 : 30
2. 開催場所 スタндарт会議室 虎ノ門ヒルズフロント店 小ホール
所在地：〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-22-14 ミツヤ虎ノ門ビル 5 F

3. 議事

《審議事項》

- (1) 生き物生息場づくり P T 政策提案について
- (2) 平成 27 年度フォーラム総会議事次第 (案) について

《報告事項》

1. 各 P T 平成 27 年度活動報告
2. C S R - N P O 未来交流会 (マッチング) 開催報告

4. 出席者

來生委員長、中村委員、鈴木 (穰) 委員、岡田委員、中井委員、井下委員、笛木委員、木村委員、竹口委員、田中代理、山尾代理、端谷代理、小谷野委員、根木委員、堀口代理、米村代理、儀間委員、奈須代理、杉崎代理、林委員、鈴木 (健) 委員、大谷代理、細川 (事務局)

5. 議事メモ

5-1 開会

出席、資料の確認 (事務局)

(1) 開会挨拶 (議長)

- ・暑い中、お集まりいただきありがとうございます。早速議事に入ります。

5-2 議事

《審議事項》

(1) 審議事項 1. 生き物生息場づくり P T 政策提案について

【決定事項】

生き物生息場づくり P T からの政策提案について、基本的な方向性および政策提案する手順が承認された。

(説明概要)

- ・ P T から提案書案の概要及びポイントが示され、スケジュール (承認手順含む) 説明が行われた。
- ・ P T から以下の要望が示された。次回の第 3 回企画運営委員会で、提案書の承認をお願いする。補足説明資料は、企画運営会メンバーに意見照会を実施し、修正等を行った後フォーラム総会に諮る。



【審議経過】

- ・提案書案の中で言及している覆砂、盛土などは、さらに、官と官との連携を図り、ダムや川砂などの利用も検討してほしい。
- ・官民連携で期待したところとなっている。

(2) 審議事項 2. 平成 27 年度フォーラム総会議事次第 (案) について

【決定事項】

平成 27 年度フォーラム総会議事次第 (案) について、事務局提案通り承認された。

(事務局説明)

- ・総会前に会員の方々に事前案内をする。
- ・企画運営委員会で承認を受けた平成 26 年度の活動報告、決算報告、平成 27 年度の事業計画及び予算を総会の場で説明する。
- ・既 P T 活動報告、新 P T の設立について報告する。
- ・審議議題のひとつは、生き物生息場づくりに関する政策提案である。
- ・もう一つの審議議題は、役員改選である。フォーラムの議長 1 名、監事 2 名が任期満了となり改選になる。
- ・その他の項目でご意見や追加項目がありましたら事務局までお願いする。フォーラムの規定により、総会での議題については事前の文書による提出が求められている。

【審議経過】

- ・特に指摘なし。

《報告事項》

(1) 各 P T 平成 27 年度活動報告

東京湾大感謝祭 P T 活動

【報告】

毎月 1 回実行委員会を開催し議論している。

- ・現在までの出展パートナーの経過報告が行われた。昨年よりも行動が早く、成果も上がりつつあるが、さらに各省庁、特に環境省、水産庁に働きかけている。さらに自治体の有料出展を含めて協力をお願いしたい。
- ・実行委員の鈴木康友さんの尽力により釣り業界への働きかけ、企業の出展協力も得られることになった
- ・海保さんのご理解により、港内一斉汽笛が許可になる方向となっている。

東京湾環境モニタリングの推進 P T 活動

【報告】 (事務局から代理報告)

- ・8 月 5 日・東京湾環境一斉調査の実施については、主催としても参加している。
- ・湾岸を中心として参加企業など 88 社 (事業部門含む)、33 自治体など、142 機関からの協力を



得ている。(7月10日時点)

- ・東京湾環境一斉調査に連携し、アサリわくわく調査、マハゼの住み処調査もPTとして実施していく。

【意見】

- ・東京湾再生会議モニタリング分科会担当より、一斉調査に対する経団連のご後援に謝意が表明された。

指標活用PT活動

【報告】

- ・新PTとして立ち上がったばかりである。現在、構成員は全体40名で、そのうち指標PT元メンバーが24名である。
- ・第一回目の会合を9月上旬に予定している。

東京湾パブリックアクセス方策検討PT活動

【報告】

- ・東京湾に近づくための地図情報化をおこない埋立地や海浜公園などの一覧性を図っていく。
- ・東京湾との接点を仮名称として「視点場」として位置付け、視点場間をつないでいく。
- ・東京湾に行ってみたいという興味をわかせる努力を行っていく。

東京湾での海水浴復活方策検討PT活動

【報告】

- ・二回のPT会議を実施し政策提案等について議論を深めている。
- ・具体的には葛西海浜公園「海水浴社会実験」を実施している。メディアの注目度も高い。
- ・海水遊泳場、大阪・南港の事例なども踏まえて、それぞれのエリアによって課題が異なることが認識できて来た。大阪南港のCOD、東京湾の大腸菌と解決すべき水質課題が異なっている。共通認識を持っていきたい。
- ・水質浄化への取り組みの経験や過去の技術活動を取りまとめつつ、議論を深めていく。
- ・アクセスPTとも情報・資料交換(人工海浜、海浜公園など)を実施して、東京湾の浄化などへの活用に生かしていきたい。

江戸前PT活動

【報告】(事務局から代理報告)

- ・「土用の丑 プロジェクト」の実施を考えている。
- ・旬の江戸前の普及を図るにあたり、社会認知を図っていきたい。
- ・江戸前を説明し、その良さを理解していただき、協力店を増やす枠組みを実施していきたい。市民が市民に説明できる江戸前の実現。
- ・このための具体的な活動を実施していく。のぼりや、ステッカー、チラシなどの配布を検討している。



- ・政策提案として県・都が実施しているブランド認定制度の課題を突破する枠組み作りを検討していく。
- ・加えて再生推進会議構成省庁に加え、経済産業省、文部科学省や観光庁などとも連携して江戸前ということばをさらに広く内外へ発信する提案を模索してゆく。

(2) CSR-NPO未来交流会（マッチング）開催報告

【報告】（事務局報告）

- ・平成 27 年 7 月 16 日（木）、イイノカンファレンスセンターで、参加団体 21 で開催された。市民、NPO、と企業とを結びつけられないかという意図を込めて事務局活動として実施。
- ・4 つの講演が行われた。企業と NPO の交流事例は、企業のメリットと合わせてどのように実行できたかなど、今後の参考となった。
- ・参加者には、現在作成中の情報ポータルサイトへの参加を呼びかけていく。
- ・手がかりがつかめたので、次回開催も検討していきたい。
- ・また現場や施設で市民団体が協力している運用事例などがありましたら、施設見学を実施するので、見学のできる施設の情報提供をお願いする。

【質疑・意見】

- ・より多数の参加者を集めて、これから成長させていただきたい。
- ・行政同士のマッチングもあるのではないかと考えられる。

(3) その他

なし

了